

第2回蔵前ゼミ印象記

垂水さん： 夏休みの宿題は夏休み前に済ませないと気が済まなかったという。この一言ですべてが納得できる垂水さんのキャリアであり、かつ講演でした。PowerPoint を駆使し、言葉が湧き出るといよりは噴出するといった感じの講演で、「モチベーション」が大事ということを目学問ではなく体感させられる講演でした。垂水さんもいずれ東工大の誇る卒業生の一人になれるに違いありません。入社した時は「企業の半年は大学の2年以上」の価値があり充実していると感じられたそうで、この言葉を私たち大学人は真摯に受け止める必要がある。

入江さん： 中国東北部のハルピンの出身。要点を板書しながらかみしめるようにおっしゃったのが印象的でした。本当に相手を説得するときは心を込めて手紙を書く必要があるというのは心にとめておこう。海外に生産拠点等を置く場合は、その土地の習慣に従う。最終的には、企業の行動倫理や哲学がものをいう。特別昇任等は文書で分かりやすく説明し皆に納得してもらうことが大切である。標準の戦い（世界標準規格を決める）も印象に残りました。一流企業は役員でも個室はない。東工大には世界から学生を集める戦略がいる。など学生ばかりでなく教職員にも大変参考になる話でした。

(以上時間がないまましたためたメモです。広瀬茂久)